

木材利用の活動報告

公共施設への地域材利用促進に向けた取組

釧路総合振興局 森林室普及課 河村哲夫

取組の課題・目的

管内のカラマツ・トドマツ人工林の資源の成熟化に伴い、これらの資源有効活用のため、平成16年度より地域材利用のための普及指導活動を展開した結果、基幹産業である農畜産分野への地域材利用の普及・定着が図られるとともに、公共施設への地域材利用の広がりも見えてきた。

さらに地域材の利用を住宅分野へ定着させるためには、地域住民に対して地域材利用の理解を醸成する必要があることから、北海道緑の産業再生協議会釧路地区部会と連携し、地域材を使用した公共施設を活用し見学会を開催し、地域材利用促進のための普及指導活動を展開した。

取組の内容

地域材利用促進施設見学会の開催

ターゲットを地域住民に

・地域材を利用した公共施設の見学，優良林分の視察，室内講演，木工体験 参加者60名



屋内練習場見学



研修集会施設見学



室内講演

取組の成果

地域住民の意見

- ①カラマツ材の利用方法を理解
- ②地域材利用の効果を理解
- ③子や孫に地域材を勧める
- ④もう一度参加したい

- ・カラマツ材が住宅部材として利用できることを認識
- ・地域材利用が森林整備や雇用創出に繋がることを認識

地域材利用に対する理解の醸成が図られた

課題と今後の展開

地域材利用の取組で出た新たな課題

- ①市町村単独では地域材利用に不安
- ②情報の共有化の不足
- ③川上・川下一体的な取組みの不足
- ④地域材流通経路と入手に不安

今後の展開

林業普及指導員

コーディネーター

- ①情報の共有化
- ②ネットワーク化の構築